

平成27年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

佐賀市立神野小学校

4月に文部科学省による学力・学習状況調査を実施しました。全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析し教育の改善を図るとともに、児童生徒一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることを目的としているものです。

結果を基に、本校児童の学力の傾向を分析し、学力向上について対応策をまとめました。その概要についてお知らせいたします。

■ 調査期日

平成27年4月21日(火)

■ 調査の対象学年

小学校6年生児童（在籍数 125名）

■ 調査の内容

(1) 教科に関する調査

主として「知識」に関する問題 〔国語A、算数A、理科〕	主として「活用」に関する問題 〔国語B、算数B、理科〕
<ul style="list-style-type: none">身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など	<ul style="list-style-type: none">知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力などにかかわる内容様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などにかかわる内容

(2) 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
<ul style="list-style-type: none">学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する調査	<ul style="list-style-type: none">指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況、児童生徒の体力・運動能力の全体的な状況等に関する調査

■ 調査結果及び考察について

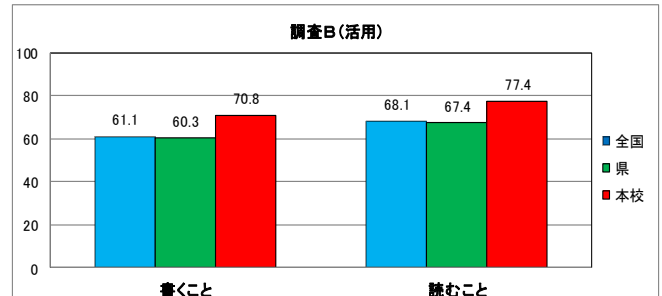
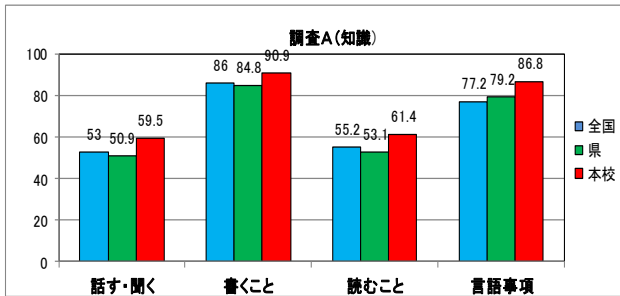
全国学力・学習状況調査は小学6年生が対象であり、教科は国語と算数、理科に限られています。さらに、出題は各教科の限られた分野(問題)です。したがって、この調査によって測定できるのは、「学力の特定の一部分」であり「学校教育活動の一側面」であることをご了解の上、ご覧ください。

■ 調査結果及び考察

1 国語

(1) 結果

全国及び県正答率との比較



調査A, 調査Bとも全ての領域で本校の正答率が全国平均を上回っています。特に「書くこと」については9割を超える正答率でした。昨年度同様どの領域においても、正答率が県平均, 全国平均を上回っています。日常の授業実践のみならず, 計画的な家庭学習や読書活動の奨励も要因の一つと考えられます。

(2) 成果と課題

話す・聞く

・話し合い活動の目的を捉える問題では全国平均を6.5ポイント上回っています。しかし、話の内容に対して聞き方を工夫することに課題があると考えられます。

書く

・要旨をとらえて書くことについての問題では、9割以上の正答率でした。すべての問題で全国平均を上回っていますが、その中で課題を捉えて条件を満たした問題を書くことは難しいようです。

読む

・無回答率も低く、短時間に要旨を読み取る力がついてきています。新聞のコラムや作品募集の形式の文章に慣れ、表現の工夫に気づかせるような学習に取り組ませることで更に力を伸ばすことができると考えます。

言語事項

・昨年に続き、漢字の読み書きやことわざの意味、国語辞典の使い方など全ての言語項目について、全国平均を9.0ポイント上回りました。新出漢字の学習では、音読みや訓読みなどの学習だけでなく、学んだ漢字を使ってノートや作文を書くことで定着を図ることができると考えられます。

(3) 学力向上のための取り組み

【学校では】

- 「話す聞く」の場面を多く設定し、話す時の観点を示して話をさせ、聞く側も同じ観点で聞くような学習を取り入れます。また、他者評価でも観点をもって聞くように指導します。
- 与えられた情報と文章を対応させるような学習を取り入れます。そして友だちとの意見交流をする場を多く設定し、わかりやすく表現する工夫について指導します。
- 文字言語で表現された文の奥深さに触れさせたり考えさせたりすることで、言葉に関する感性を高める指導を行います。

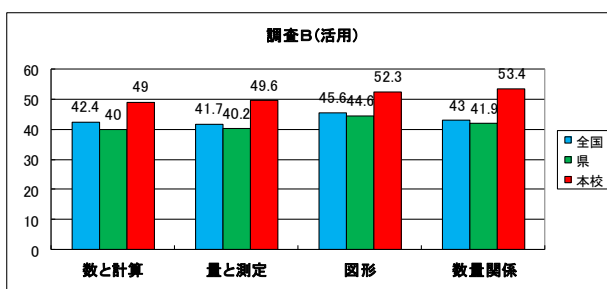
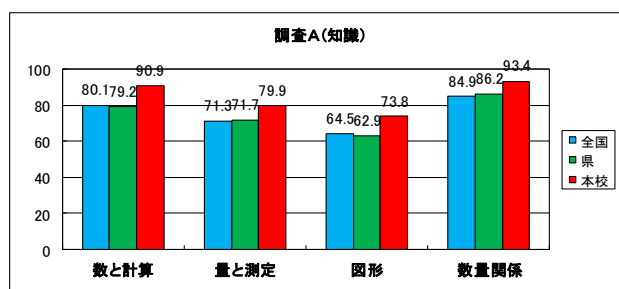
【ご家庭では】

- まずは音読が基本です。音読を毎日聞いてあげてください。繰り返し音読することで、文の構成、言葉の意味を理解できるようになります。文章を読み、要点や意図を捉えることは、国語科だけでなく全ての教科の学力向上につながります。
- 新聞のコラムやニュースなどの記事を題材にして、表現の良さ、書き手の意図などについて、家族で語り合って読み深める時間を作ってください。
- 豊かな表現力は確かな語彙力と知識の量に深く関わりがあると考えます。日頃から身近に辞書を置いて、お子さんが語句の意味がわからないと言ったときは、一緒に調べてあげてください。

2 算数

(1) 結果

全国及び県正答率との比較



調査A, 調査Bとも全ての領域で本校の正答率が全国平均を上回っています。本校では全学年を通して統一した学習過程で授業実践をしており、各学年で身につけなければならない基礎的な学力の定着に努めている成果が結果に表れています。また本校独自の中学年での「そろばんタイム」などの取り組みが結果につながっていると考えられます。

(2) 成果と課題

数と計算

・全国平均を上回っており、計算力が定着していることがうかがえます。しかし、概数の概念が理解できていない児童が見受けられました。そこで、低学年の時から答えの見当をつけさせるなど、生活の中でおよその計算ができるような場面を設定した授業を多く取り入れていきます。

量と測定

・図、式、言葉を結びつけて考えたり、図に数値を書き込んだりしながら問題を解いていくことの指導の効果が現れています。しかし、分度器を用いて 180° より大きな角の大きさを求める問題では、分度器を逆さにしたことで、どこが求める部分であるのか分からなくなってしまうようでした。分度器を用いた多様な測定技能の定着を図っていきたいと思います。

図形

・作図や図形の様々な問題に取り組む際には、必要な情報を図の中に書き込むことを指導しています。今後は図形の定義などと照らし合わせながら、自分の言葉で説明させる授業の工夫が必要と考えています。

数量関係

・割合の問題では関係図や数直線で表すなど、2つの数量関係を見つける指導をしてきた成果が現れています。文中の「増量」「割引」「利益」などの言葉の意味を正確に理解させるとともに、「もとにする量」「比べられる量」「割合」の数量関係を正しく捉えるため、さらに工夫した指導が必要と考えます。

(3) 学力向上のための取り組み

【学校では】

- 課題解決型の学習を継続し、根気よく自分で解決しようとする意欲を高める授業展開をしていきます。
- 算数的な活動を取り入れて、見通しやイメージをしっかり持たせ自分の考えを図や式、言葉を使って筋道を立てて表現させるようにします。
- 少人数授業を積極的に取り入れ、子どもの実態に応じた指導に努めます。

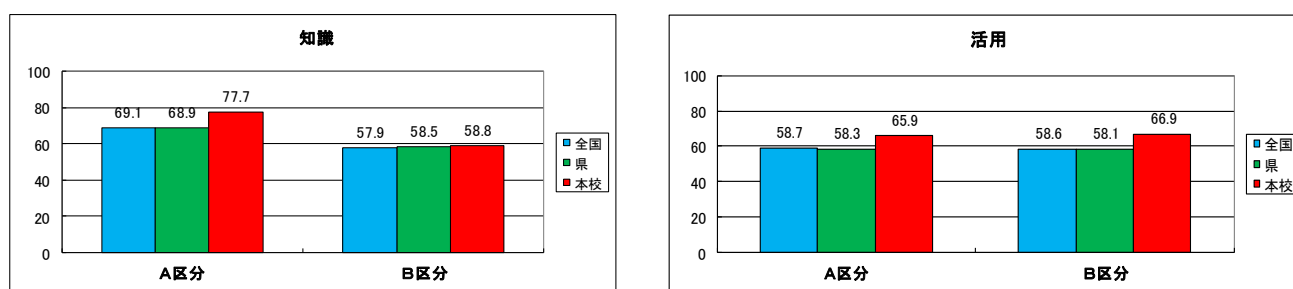
【ご家庭では】

- 毎日のお子さんの家庭学習の様子に目を配り、どこにつまずいているのか言葉かけをしてください。また、自学ノートなどで意欲的に取り組んでいることや根気よく取り組んでいることを認め、大いにほめてあげてください。
- 買い物、食事、入浴、洗濯など生活の中で計算や図形、時間や時刻など算数が使え場面がたくさんあります。その機会をとらえ、楽しく算数を身につけるような声かけをお願いします。

3 理科

(1) 結果

全国及び県正答率との比較



基礎的な知識を問う問題も活用力を問う問題でもA区分(物質・エネルギー)、B区分(生命・地球)ともに全国平均を上回っています。子どもたちが楽しく理科学習に取り組んでいることがうかがえます。

(2) 成果と課題

A区分(物質・エネルギー)

・電磁石の性質を利用して振り子運動を作り出す問題に誤答が多く見られました。「退け合う」「引き合う」という用語を、実験を通して体感させて理解させるための指導をしていきます。実験を計画する際に、調べる内容を明らかにし、調べるために変えなければならない条件は何か、そろえなければならない条件は何かを整理しながら考え、実験を計画することが必要であると考えます。

B区分(生命・地球)

・打ち水の効果について、地面の様子と気温の変化をグラフから読み取る問題の正答率が高かったです。日頃の授業でも、身の回りに起きている科学的事象を体験させたり紹介したりしている成果が現れているようです。また、算数科でのグラフの読み方の学習も生かされていると考えられます。
・顕微鏡の名称や使い方に関する問題の正答率が低かったです。顕微鏡など観察・実験器具は、日頃から操作できる環境をつくる必要があると考えます。

(3) 学力向上のための取り組み

【学校では】

- 1人1実験を基本とした問題解決学習をこれからも進めていきます。問題発見から結論に至るまで、個と集団の学びを保障した学習スタイルを構築していきます。
- 理科の学習で使用する実験器具については、理科室内では日常的に操作できる環境整備に努めていきます。
- 理科の学習で問題解決を通して明らかになったことを日常生活に当てはめて考えるようにします。学習で学んだことと実生活との関連を図ることを目指します。

【ご家庭では】

- 家庭内外の身の回りにある理科的な事象を紹介したり、四季を通して自然の中での体験活動に触れさせたりしてください。
- お子さんが理科的なことに興味・関心を持ったときに、それにつきあったり、理解を示したりする大人や家族がいることは、理科好きなお子さんに育つことにつながります。お子さんが科学や自然について疑問を持ち、その疑問について質問したり調べたりするときには、ぜひ一緒に考えたり、調べたりしてください。

4 生活習慣や学習習慣に関する調査

(1) 結果

《生活習慣について》

調査項目	本校%	全国平均%
朝食を毎日食べている	91.7	87.6
毎日、同じくらいの時刻に寝ている	88.5	79.5
毎日、同じくらいの時刻に起きている	96.7	91.0
平日2時間以上テレビ、ビデオ、DVDを見たり、聞いたりしている	51.2	59.2
平日2時間以上ゲーム(PC・携帯・スマートフォン等)をしている	16.5	30.2
平日、読書を30分以上している	45.4	37.7
平日、読書を全くしない(10分未満も含む)	25.6	35.7

- ・朝食・起床・就寝については、全国平均を上回っており、生活のリズムはおおむねできていると考えられます。
- ・テレビやゲームについては、全国平均より低い結果ですが、長時間のテレビやゲームが日常化している児童もいるようです。
- ・読書については、全国平均を10%近く上回っており、読書習慣が身につけている児童が多いようです。

《家庭学習の様子》

調査項目	本校%	全国平均%
平日、2時間以上勉強している(学習塾を含む)	37.2	25.7
土日、2時間以上勉強している(学習塾を含む)	33.9	24.5
宿題をしている(どちらかというとも含む)	98.3	96.8
予習をしている(どちらかというとも含む)	58.7	43.4
復習をしている(どちらかというとも含む)	68.6	54.5

- ・平日も休日も家庭学習(学習塾を含む)をよくしており、全国平均を上回っています。
- ・学習内容については、宿題はきちんとしている。予習・復習についても全国平均を上回っています。個々の意識に差があり、学習時間の差に直結していると思われます。家庭学習の質・量ともに上げていく必要があると考えます。

(2) 改善に向けての取り組み

【学校では】

- 毎日、「音読」「漢字」「算数・国語のプリントやドリル」を基本に宿題を出します。自主学習(自学)においても学年や児童の興味・関心に応じた内容に取り組むよう、自主学習メニューを紹介して定着を図ります。
- 「元気もりもり週間」「図書館まつり」等の取り組みを通して、生活習慣や読書習慣の向上に努めます。

【ご家庭では】

- 生活習慣リズムはおおむねできています。「早寝・早起き・しっかり朝ごはん」の習慣を続けていくよう心がけてください。一日を元気に過ごし、学習の効果を高めるためにも「朝ごはん」は栄養のバランスを考えたものをしっかり食べて登校させるようにお願いします。
- 学校での学習効果をより高めるために、前日に学習の準備を済ませ、忘れ物等がないように声掛けをお願いします。
- テレビの視聴、ゲーム等の使用については、ご家庭で必ずルールを設けて、学習習慣や生活環境を整えるようにお願いします。

全国学力・学習状況調査の結果分析のまとめ方について

◎以下の点について考慮して、各教科の公表ページを作成（修正）してください。

- ① 正答・誤答に特徴のある問題について触れてください。
- ② 誤答率の高い問題については、その要因や対策方法。また前学年までに必要と思われる指導について。
- ③ 調査を受けた児童（現6年生）対して今後どのように指導をしていくことが必要か記入してください。
- ④ 昨年度、（一昨年度）の結果と比較して、日頃行っている（26年度以降改善した）指導法が効果的に現れたことがあれば「～の指導が有効であった。…。(例)」などと記載してください。
- ⑤ 少人数担当教員や理科専科教員を中心とした校内研のあり方や指導法改善について、今後神野小としてどのように取り組んでいくか具体的な方策を提起するようにしてください。

※①～⑤まで全て含むことはできないかもしれませんが、「今回の調査結果を学校としてどのようにとらえているのか、6年生に限らず今後どのように子どもたちへ指導をしていくか」を保護者や地域の方にわかりやすく伝えるつもりで書いてください。

※グラフに修正がある場合は鶴田まで申し出てください。

★データはサーバーの

R4→408分掌事務 → 08学力向上 → 学力向上平成27年度 → H27全国学調結果考察（検討会修正用）に入れています。

★修正がすんだら教科の文字

「1 国語」「2算数」「3理科」「4 生活習慣や学習習慣に関する調査」を赤字に変更しておいてください。

★作業終了は 今週の木曜日の帰りまでをお願いします。

金曜日には再配布して来週の学力向上委員会に図りたいと思います。よろしくをお願いします。